

令和4年度 専門学校デジタルアーツ東京

自己評価報告

令和5年3月31日

 菅原学園

専門学校 **デジタルアーツ** 東京

目 次

1. 学校の教育目標

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

3. 評価項目の達成及び取組状況

- (1) . 教育理念・目標
- (2) . 学校運営
- (3) . 教育活動
- (4) . 学修成果
- (5) . 学生支援
- (6) . 教育環境
- (7) . 学生の受け入れ募集
- (8) . 財務
- (9) . 法令等の遵守

1. 学校の教育目標

本校は、学校教育法に基づく教育機関として、多様化、高度化し変遷する産業及び社会構造の変化に対応するデザインや音楽、演劇・情報技術（IT）・ビジネスの各分野に関する理論とその実践的応用の教授を行う。

かかる教育目的の実現により、国家、地域社会ならびに産業の発展に寄与する実務に即応できる人材と自由かつ創造性に富む人間の育成を使命とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本校の各分野の目指す業界動向を掴み、カリキュラムや教育指導に迅速に取り入れ就職に結びつける。「学内コラボレーション」をより進め、クリエイター・アーティストとしての発想や創造性を豊かにしていくと共に企業との連携による実務体験やインターンシップを通じプロデビューや就職を達成していく。

このような専門教育と並行し人間力の向上として、「挨拶」から始まる社会人としてのルールやマナー・職場におけるコミュニケーション能力を指導する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) . 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

① 課題

菅原学園全体の教育テーマでもある「人間力」の向上に継続して取り組んでおり、特に「コミュニケーション能力」の向上に重点を置き学生指導にあたっている。SNS等に頼らないコミュニケーション力を身につけさせることが大切であると考えられる。

② 今後の改善方策

専任教員は学内で年2回実施する臨床心理士によるセミナーを受講し、担任が担当する実践学習の時間に取り入れている。この対策が、学校全体の除籍・退学者の減少や就職指導にも生かされています。

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(2) . 学校運営

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・ 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	④ 3 2 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
・ 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切におこなわれているか	④ 3 2 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

〔 コロナ禍の中での学校運営となったが、対面授業とオンライン授業の併用により大きな混乱もなく行事予定に沿って進めることができた。蓄積したオンライン授業の実績を今後どのように活かしていくかが課題となっていく。 〕

② 今後の改善方策

〔 教育の根幹は対面授業を基本としていくが、今後はコロナ禍で得たオンライン授業の効果も踏まえ、対面とオンラインのハイブリットによるカリキュラム展開も検討していきたい。 〕

③ 特記事項

〔 オンラインを活用した教育活動の一つとして姉妹校のデジタルアーツ仙台との連携授業を行った。授業や企業セミナーを東京と仙台両校で受講する取り組みや両校の教員の交流にも役立てている。 〕

(3) . 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

カリキュラム編成において、めざす分野で即戦力として従事できるスキル身につけることを主眼においたシラバスを再検討し、目標設定に基づいた教材の開発が必要となっている。

② 今後の改善方策

各学科内での専任教諭と担当講師との連携をより深め、講師毎のシラバスに沿った到達目標の達成を実現させる。また前期、後期の授業期間終了後に特別選択講座期間を設け、業界セミナーや他学科授業、外部施設見学、就職対策講座等バラエティに富んだ講義を行う。

③ 特記事項

昨年度に引き続き学園祭「DATフェスタ」を開催した。実施にあたっては昨年度の経験を活かしコロナ感染対策を行った。学生の成果を発信する絶好の機会になり、モチベーションの維持にも効果的であった。次年度に関しては、コロナ禍以前の形に戻し各業界の企業へのアピールや学生募集にも役立てていきたい。

(4) . 学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

① 課題

通信制高校など高等学校の多様化により毎日の通学に不慣れな学生の増加や学校生活又は友人家族間の問題など様々な要因により心理的に不安定になる学生など出席不良に至る状況は多岐にわたっており、退学率の低減には個別に丁寧な対応が必要となっている。

② 今後の改善方策

今後も個人面談を中心に対策にあたり、個々の心理的不安の緩和に努める。また出席不良者には継続して保護者とも連携することで退学率の低減が図られており、長期欠席に繋がる兆候が見えた際には迅速に対応し、問題解決の糸口を学生本人や保護者と話し合いの中で見つけていく。

③ 特記事項

令和5年度入学生に対し、オリエンテーションにて心理的傾向を掴むテストを実施予定。学生には自分の行動傾向の理解に、学校側は学生の傾向を掴み入学後の指導に役立てていく。

(5) . 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

コロナ禍での行動制限により、今年度も企業へアプローチできる機会は少ないと考える。インターネットや SNS の活用を増やし、早期より企業情報の収集に努め、説明会・インターンシップ等の機会を増やしていきたい。

② 今後の改善方策

企業担当者との接触が減り面接もオンラインが増えるため、ポートフォリオの出来栄が重要となる。1年次終了時に80%の完成をめざし、2年次には更なるクオリティアップとアプローチする企業に合った作品への入れ替えを準備させていく。

③ 特記事項

令和4年度より東京商工会議所に入会。都内を中心とした企業との情報交換を行い、有益な情報を学生に提供していきたい。特に留学生は首都圏での就職を希望する者が多く、今後の就職率向上に繋がるものと期待している。

(6) . 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

毎年校舎の修繕に関しては、各設備の耐用年数、工事内容を考慮したうえで年度予算を設定し対応している。しかし2校舎ともに築後25年以上経過しており緊急対応を余儀なくされる事案が発生する可能性がある。

② 今後の改善方策

教育の質の向上を図るため実習教室等の教育設備環境を充実させていく。校舎の修繕に関しても今後複数年での工事計画も検討し、学校運営を円滑に進められるよう準備していきたい。

③ 特記事項

Windows10 のサポート終了を控え、次年度以降パソコンの入れ替え等が必要となる。今後の実習教室の運用の方法も含め検討し、情報収集を行っている。

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

コロナ禍が原因でオープンキャンパスへの来校者数、高校ガイダンスの実施件数が減少しており、入学対象者への接触機会を増やすことが学生募集の重要課題となっている。

② 今後の改善方策

インターネットのリスティング広告やSNSの活用を見直し、学校と入学対象者との接点を増やしていく。さらにホームページの内容の再検討を行い、学科別ブログやSNSを通じた学校情報の提供により、オープンキャンパスへの動員に結びつける。

③ 特記事項

〔 コロナ禍による留学生の入国制限の影響により日本語学校に在籍する留学生が減少。政府による入国制限が緩和されて以降留学生の数は戻りつつあるが大半が令和6年度入学対象となり、本校の令和5年度留学生数は減少した。 〕

(8) . 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

〔 特になし。 〕

②今後の改善方策

〔 財務に関する情報は、ホームページ上に情報公開している。今後も必要に応じてホームページ上に情報公開していく。 〕

③特記事項

〔 特になし。 〕

(9) . 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

{ 特になし。

}

② 今後の改善方策

{ 特になし。

}

③ 特記事項

{ 特になし。

}